



大切な人を お見送りするために



JA松山市 久万葬祭会館 やすらぎ

○病院の場合は

- ・親戚等に連絡を入れます。
- ・寝台車の手配……JAに連絡を入れます。 TEL 0892-21-2509(24時間受付)

内 容

- ・故人様のお名前
- ・病院名（病棟・病室番号まで）
- ・病院を出る事の出来る時間
- ・送り先（自宅・会館）
- ・自宅の住所 電話
- ・寺院名

- ・病院にて「死亡診断書」を受け取ります。
- ・主治医や看護師に挨拶し、病院を出発いたします。

○自宅の場合は

- ・医師に連絡し、死亡の確認をして貰います。
- ・事故死の疑いのある時は、警察に連絡します。

JAに連絡を入れます。 TEL 0892-21-2509(24時間受付)

内 容

- ・故人様のお名前
- ・自宅の住所 電話
- ・お伺いしても構わない時間
- ・寺院名

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



危篤の連絡

危篤の状態、会わせたい人に連絡をとる時は、時を選ばずにすぐ連絡します。このとき、何処へ行けば会えるのか、病院なら部屋番号まで伝えましょう。



故人様のお着替え

病院で亡くなった場合は、看護師さんが清拭をし故人様のお着替えをしてくれます。寝間着や着物など、前合わせの着物を用意されておくと良いです。

○自宅に安置の場合は

- ・自宅に誰かいらっしゃる場合は、戻る時間を連絡し、部屋の片づけをお願いします。
- ・安置する布団や枕元の机を用意する。

・季節を問わず、敷布団一枚、掛布団一枚です。
敷布団はマットレスのような厚みの有るものは避けた方が良いでしょう。
・枕元の机は、60cm×35cm位あると良いでしょう。
お持ちで無い場合は、JAにご相談ください。

- ・お線香をお供え出来るように用意する。

・線香立て、花立て、ローソク立てはお仏壇に有る物を使用します。
お持ちで無い場合は、JAにご相談ください。
・末期の水や神棚封じ(半紙)等はJAにて用意します。

- ・安置が出来ましたら、皆様でお線香をお供えします。

○会館に安置の場合は

- ・安置する布団を用意する。

・直接会館に入られる場合もお布団は必要です。
ご自宅から持参して頂くか、布団セットをお買い上げ頂くことになります。
・線香立て、花立て、ローソク立てはJAにて用意します。

- ・安置出来たら、皆様でお線香をお供えします。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



北枕

一般的に御遺体を安置する時は、釈尊が入滅された時の向きにならい、北枕と言われていますが、部屋の状況に応じて、西枕にしてもかまいません。



枕飯

一般的に帰宅したら枕飯を近所のかた(他人)に作っていただくとなっていますが、深夜などの場合は、翌朝でもかまいません。無理のないようにしてください。

○葬儀打合せ

- ・喪主の決定
- ・宗派・寺院の確認
- ・葬儀内容の相談・決定

式場(自宅・会館) 日程(通夜・葬儀・弔上・初七日 等)の決定

遺影写真の選択

会葬礼品の選択

会葬礼状の印刷枚数の決定

祭壇の選択(和室葬 会館葬)

料理(通夜 葬儀後)

送迎バス

- ・寺院への連絡 (JAにて行います)
- ・死亡届手続き (JAにて行います)

・死亡届は、死亡診断書の半片に有ります。記入は自書にてお願いしていますが、手続きは認印と火葬料をお預かりしてJAにて代行いたします。

- ・通夜葬儀の日時場所を、関係者に連絡いたします。

・死亡届を行い久万斎場の手続きが終わらないと、葬儀日程が確定しない為、関係者への連絡はJAより連絡が有ってからにしてください。

- ・通夜葬儀の祭壇設営や幕張等の準備を致します。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



日程

通夜・葬儀の日程は、遺族親族の都合や、僧侶の都合、久万斎場の都合、会館の都合などを調整しながら決めていきます。



お手伝いの依頼

親戚だけでなく、友人や町内会、職場の方にお手伝いを頼む事が有ります。誰に何を担当してもらうか決めてお願いするようにします。

会館葬・和室葬について

○会館葬とは

・御通夜は自宅や会館で行いますが、御葬儀を会館ホールでおこなう様式です。

・最近ではほとんどの御葬儀が会館葬です。常時130席、最大200席まで対応できます。
JAでは、祭壇料45万円から100万円(税別)の4コース有ります。



○和室葬とは

・自宅や会館の和室を利用しておこなう様式です。

・御自宅や会館の和室(20畳)を使用しての御葬儀です。会館では約30名様まで対応出来ます。
JAでは、祭壇料25万円から65万円(税別)の4コース有ります。



JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



葬儀の費用について

葬儀費用には祭壇料以外にも必要になるものが有ります。(右図)
寝台車・霊柩車や会葬礼品、料理等、家によって状況が変わってくる物は含まれてない場合が多いです。

祭壇料以外に必要な物

御通夜使用料 法要使用料
寝台車 霊柩車 送迎バス
会葬礼品 会葬礼状
ドライアイス 遺影写真加工
料理 飲み物
火葬料 寺院様お布施

・御通夜にはいろいろな形があります。

- ・僧侶に来てもらい読経して頂く。
- ・お先達と呼ばれる方に読経して頂く。
- ・僧侶もお先達も呼ばずに、来られた方から順にお参りをする。

※上記以外にも地区により風習がありますので相談されるとよろしいです。

僧侶を呼ぶ場合の通夜

- 1.僧侶を迎えます。
- 2.お茶やお菓子等を出します。
- 3.僧侶が読経します。
- 4.喪主、遺族、会葬者の順で焼香します。
- 5.お式が終了してから代表者の挨拶をします
- 6.僧侶を見送ります。

・御通夜は「夜を通しお線香を絶やさず故人をお守りする」と言われますが、あまり無理をせず、故人が寂しがらないよう近くで休んだり交代で休んだりするとよいでしょう

○通夜の後の食事

・通夜の後の食事については、地区により風習があります。
食事を用意したり、しなかったり。お茶菓子でもてなしたり。様々ですので世話役に相談すると良いでしょう。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



御通夜の服装

久万高原地区の御通夜は、式服ではなく地味めな服装でおこなう事が多いようです。会館での御通夜の場合は式服の方が増えてきてますが、派手で無ければ良いようです。



僧侶の接待

自宅で御通夜をされる場合に僧侶が来られたらお茶とお茶菓子を用意しもてなします。御通夜が終わった後もお茶を用意しこの時にお礼を渡されると良いでしょう。会館で御通夜の場合はJAにて用意します。

・副葬品を用意します

・お洋服や小物など、故人様が愛用していた物を選んであげてください。

お好きだったお菓子等も用意する家庭が多いです。飲み物等を用意する場合は、紙パックの物かナイロン袋に小分けしてあげてください。

・仏衣(経帷子)や五穀、六文銭(印刷)等はJAにて用意します

納棺の儀

- 1.着座し、代表様に線香をお供えして頂きます。
- 2.旅支度を皆様で行います。
- 3.御遺体を御棺に納めます。
- 4.副葬品を納めます。
- 5.はなしばの葉(お金)を持たしてあげます。
- 6.合掌します。

・自宅で行う場合は、終わり次第自宅を出発いたします。

・会館で行う場合は、祭壇に安置いたします。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



死化粧について

故人様に死化粧をしてあげる場合は、家族の方で納棺式までにしてあげてください。



湯灌・美装について(有料)

湯灌とは、故人様をお風呂に入れてあげて、洗髪や髭そり、等をおこなってから、愛用のお着物やお洋服に着替えさせて死化粧をおこないます。御通夜の前までにおこないますので、ご希望の方は担当者にご相談ください。

- ・開式1時間前に司会者との打合せをおこないます。

・式次第や焼香順序、弔電の順番・お名前の確認。供物の立礼の確認や代表挨拶の確認等をおこないますので、遺族様は1時間前までにお集まりください。

- ・僧侶が来られたら、挨拶に伺います。
- ・遺族親族のかたは、開式30分前に式場にご入場いただきます。

葬 儀

- 1.開式10分前に着座します。
- 2.僧侶を迎えます。
- 3.僧侶が読経します。
- 4.引導・法語。
- 5.弔電が読み上げられます。
- 6.喪主から順に遺族が焼香します。
- 7.来賓・会葬者の焼香をいただきます。
- 8.僧侶を見送ります。
- 9.遺族代表の挨拶をいただきます。

※式次第の順番は変更になる場合があります。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



僧侶が来られたら

僧侶が来られたら、喪主様にご挨拶に行かれると良いでしょう。
又、この時にお礼を渡しておくとお別れの時にバタバタなくて済みます。



来賓・会葬者

式場で御葬儀をする場合は、祭壇に向かって左側が会葬者の席になります。
又、来賓等の指名焼香をお願いする場合は前列に着席して頂くので、葬祭担当者にご相談ください

お別れ・出棺

1. 棺に花等を入れて、お別れをします。
2. 棺のふたを閉めます。
3. 遺族親族で釘止めをします。
4. 出棺をします。
5. 葬列をおこないます。
6. 霊柩車に安置します。
7. 位牌・遺影を持ち霊柩車の横に並びます。
8. 代表様の挨拶をいただきます。
9. 霊柩車に乗車し、出発いたします。

火 葬

1. 久万斎場に到着。
2. 棺を炉に納めます。
3. 焼香をします。
4. 炉を閉めて火葬をおこないます。

・火葬は2時間かかりますので、会館に戻ります。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



お別れについて

久万斎場では炉に安置する前にお顔を見る事が出来ません。式場出棺前のお別れが、お顔を見れる最後になります。



釘止め

棺の蓋を閉める時、死者が迷わず旅立つ事を願い、2回づつ、小石で釘をたたきます。清めやお祓い、厄除けの意味合いもあります。

○精進落とし

- ・火葬に2時間かかる為、久万地区では火葬中に精進落としをする場合が多いです。手伝って頂いた人たちの労をねぎらう意味が有ります。

・地域により様々な風習が有ります。
世話役に相談の上、御膳の数を決定された方がよいでしょう。

○収 骨

- ・指定された収骨の時間に久万斎場に移動します。
皆様が集まってから合掌し、収骨を始めます。
拾う御箸は、互い箸(木と竹)で皆様で交代で足元から拾い始めます。

・久万斎場では互い箸が分かりにくい為、箸の頭が赤と白に塗ってあります。
又、なるべく多くのお骨を拾う為に、お骨を崩しながら拾います。

○法 要

- ・収骨後、弔上・初七日等の法要をおこなう場合が増えています。
僧侶や家の都合で変わりますが、精進落としの前におこなう場合も有ります。
- ・法要は家に帰ってからおこなう場合、寺院でおこなう場合、会館でおこなう場合等有りますのでご相談ください。

JA松山市久万葬祭会館やすらぎ



繰り上げ法要

親戚一同が集まりにくい現在では、葬儀当日に「弔上・初七日」として執り行う事が多くなっています。
法要をした場合でも、初七日には来れる方だけでお参りをされると良いでしょう



忌明け(49日)法要

命日から49日目に僧侶を呼んで行う法要です。現在では前の日曜日等にずらすことが多いので、早めに日を決めて寺院と相談されると良いでしょう。

○焼香の作法

宗派や地域によって異なりますが、基本的に次のようにおこないます。

- 1.会葬者に一礼して、焼香台の前に進みます。
- 2.祭壇に一礼します。
- 3.お香をつまみ、香炉に移します。
- 4.祭壇に合掌し、祈ります。
- 5.少し下がって会葬者に一礼し、自分の席に戻ります。

和室などでおこなう場合は、移動せずに座ったまま焼香をする場合が多いですが、その場合は、1.と5.は省略します。

○宗派による作法の違い

宗派によって御焼香の作法は異なります。

宗派	焼香	作法
真言宗	3回	特に決まりは無し
浄土宗	1～3回	特に決まりは無し
真宗大谷派	2回	頭に押し頂かない
浄土真宗 本願寺派	1回	頭に押し頂かない
臨済宗	1回	頭に押し頂かない
曹洞宗	2回	1回目は頭に押し頂く、2回目は頂かない
日蓮宗	1回か3回	必ず頭に押し頂く

○組合員割引

亡くなられた方及び家族（配偶者・御子息）様が、松山市農協の組合員の場合に適用されます。お選び頂きました祭壇コースの価格から割引させていただきます。

尚、久万町民割引との重複は出来ません。

○久万高原町民割引

亡くなられた方の現住所もしくは本籍地が、久万高原町に在る方に適用されます。お選び頂きました祭壇コースの価格から割引させていただきます。

尚、組合員割引との重複は出来ません。

○御長寿割引

亡くなられた方の享年（数え年）が、95歳以上の場合に適用されます。

長い間JAとお付き合い頂いた御礼と感謝を込めて割引させていただきます。

やすらぎ会

◎やすらぎ会とは・・・

組合員及び地域住民の皆様の葬祭に関する合理化と経済的負担の軽減に寄与する事を目的として設立された会です。

会員
資格

積立貯金（5000円以上60回掛込み）
もしくは入会金（1000円）の納入者

会員
特典

1. 久万斎場利用料金(20000円)の助成
2. 仏壇・石碑の購入価格の5%助成

各支所窓口において簡単な手続きで入会出来ます。
認印をご持参の上、各支所窓口までお越し下さい。
その場にて会員証を発行致します。

尚、やすらぎ会の会員特典は、会員資格1口につき会員特典が1回利用できます。